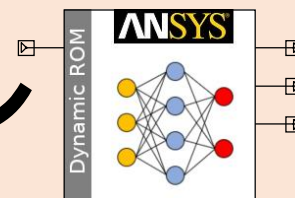


以下のURLよりお申込みください

https://www.cybernet.co.jp/ansys/seminar_event/webinar/#C_system_Webinar_8

Ansysユーザー向けシステムシミュレーション

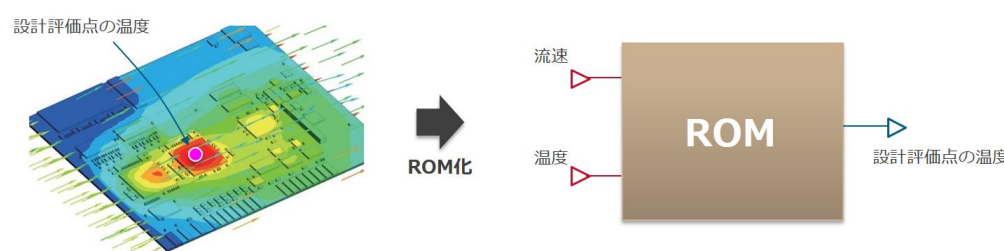


モデル低次元化（ROM）、MBD、デジタルツインの話題満載！

※ANSYSユーザー以外の方もご覧いただけます

ハンズオンセミナー（ROM体験セミナー）をWebinarに編集し、以下の5つの動画で構成しています。

- 第1章：はじめに
- 第2章：1Dからデジタルツインへ
- 第3章：事例から見る1Dの世界
- 第4章：製品紹介：Ansys Twin Builder
- 第5章：回路モデルの基本的な作成手順



1D-CAEからデジタルツインまでの概要をご理解いただける内容となっております。また重要な技術であるモデル低次元化（ROM）のご説明もございます。

FEMやCFDなどの3次元の解析を行っている方を意識した内容となっておりますが、システムシミュレーションを担当されている方にもご参考にしていただけたらと思います。

さらに詳細なご質問や以下例題テキストをご希望の方はお問い合わせ窓口までご連絡ください。

Ansys Twin Builder の基本操作	Twin Builderの基本操作。一般的な1Dツールの操作としてもイメージしていただけます。
熱回路の等価回路例題	流体回路を組み合わせた熱回路網法。 流体回路から求めた流量による移流効果を考慮した熱回路網法を適用することで電子機器内の放熱/冷却設計の精度を向上させます。
伝熱解析のROM例題	マシニングセンターの熱変形をMechanicalで解析し、その結果をTwin BuilderでROM化する。出力したDynamic ROMを使用して、システムを解析することで、想定された動作が可能かを検討、最適化を行う。
流体解析のROM例題	空冷システムの冷却効果を確認します。 空冷ファン付きのモーター用ヒートシンクの熱伝達係数を熱流体解析から求め、熱回路内の可変熱抵抗素子として1Dモデルを作成します。
構造解析のROM例題	状態空間表現による振動問題のROM化を実施します。 Mechanicalから取り込んだ振動モードを状態空間化してTwin Builderにて過渡解析を実施し、高速に質点の応答が得られることを確認します。



ROM（モデル低次元化）の考え方にご興味のある方へ！

以下のWebサイトでモデル低次元化を詳しく解説しています

モデル低次元化の基礎 < <https://www.cybernet.co.jp/ansys/case/lesson/027.html> >

お問い合わせ窓口

サイバネットシステム株式会社
 CAE事業本部 CAE第1事業部
 エレクトロニクス技術部 システム技術課 北川 智也
 080-1339-4201
k-tomoya@cybernet.co.jp
 〒101-0022
 東京都千代田区神田練堀町3番地 富士ソフトビル

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET